

木の良さ・価値を再発見させる製品や取り組みを表彰する「ウッドデザイン賞2018」 林野庁長官賞を2年連続受賞 当社グループで合計3つの取り組みが林野庁長官賞

◆ ニュースポイント ◆

ナイス株式会社（杉田 理之社長、本社：神奈川県横浜市）は11月20日、林野庁が後援する「ウッドデザイン賞2018」（主催：ウッドデザイン賞運営事務局）において、3つの取り組みをエントリーし、いずれも同賞を受賞しましたが、更に、「全国47都道府県から森林認証材の供給体制確立」（ソーシャルデザイン部門 コミュニケーション分野）と、「表層圧密 Gywood（ギユッド）シリーズ」（ライフスタイルデザイン部門 建材・部材分野）が、林野庁長官賞を受賞しましたのでお知らせいたします。当社の林野庁長官賞の受賞は、昨年の「木と住まいの大博覧会」（（一社）木と住まい研究協会と共同）に続き、2年連続となります。

また、設計事務所の福山弘構造デザインと当社グループの菊池建設㈱（木暮 博雄社長、本社：神奈川県横浜市）が共同でエントリーした「安永寺本堂新築工事」（ハートフルデザイン部門 建築・空間分野）が林野庁長官賞を受賞しており、グループとして合計3つの取り組みが林野庁長官賞となりました。

当社グループはこれまで、2015年の同賞創設以来4年連続、合計17の取り組みがウッドデザイン賞を受賞しております。そのうち、「住まいの耐震博覧会」（2015年）、「木と住まいの大博覧会」（2017年）が林野庁長官賞を受賞しており、このたびの受賞により合計5つとなります。

全国47都道府県から森林認証材の供給体制確立

ナイス㈱

受賞部門：ソーシャルデザイン

受賞分野：コミュニケーション分野

森林認証の取得をサポート

ナイス㈱は、建築用木材として全国47都道府県から「森林認証材」を調達する体制を整えました。森林認証材とは、独立した第三者機関が環境などの点で適切な森林経営が行われていると認証した森林から生産・流通された木材を言います。木材市場事業をルーツとする当社は、全国の優良製材メーカー様と連携することで、木材のコーディネートにおけるノウハウを有しています。このたび、認証された森林が存在しなかった県においても、山林を保有する自治体や企業に働きかけ、林道の整備など、森林認証の取得をサポートするとともに、製材・加工・流通事業者をコーディネートすることで、全国の「森林認証材」の供給体制を確立しました。

これにより、全都道府県の木造住宅・非住宅建築物に対し、森林認証材の供給が可能となりました。



昨年、林野庁長官賞を受賞した「木と住まいの大博覧会」で展示された、森林認証された全国47都道府県のスギ材

「木造ゼネコン®」として、木造建築の普及を推進

ナイス㈱は「木造ゼネコン®」として中・大規模建築物の木造化・木質化を推進しています。その特長はワンストップソリューション機能で、当社グループ内で木造建築に必要な①企画設計、②構造設計、③積算、④木材調達、⑤木材加工、⑥施工の6つの機能を有し、一気通貫した建設が可能となっています。

公共建築物においては、現在認証林から伐採した木材を使用するケースが増えており、当社は47都道府県からの森林認証材の供給体制を生かし、木造建築の更なる普及・促進を図っていきます。



徳島県では、森林認証を受けた自社の社有林から伐採したスギをグループの製材工場加工

表層圧密 Gywood シリーズ

ナイス㈱

受賞部門：ライフスタイルデザイン

受賞分野：建材・部材分野

「表層圧密 Gywood シリーズ」は、スギやヒノキ、アカマツなど、軟らかいとされる針葉樹の無垢材の表層部を特に高密度化することで、素材としての硬さや強度を向上させ、更に一般的な無垢材と比べて形状安定性を高めることに成功した「無垢の新素材」です。これにより、針葉樹の大径材らしい大きな無垢の板材を、美しい木目の意匠や、質感、風合いを保ちつつ、表面をほどよい硬さにしています。針葉樹の弱点であった傷つきやすさを克服しつつも、内部の軟らかさはそのままとし、キズに強く、軽い素材となっており、針葉樹でありながら、フローリングやデッキ、天板などにも使うことができます。

木材業界をはじめとした多種多様な企業との連携により、無垢材の付加価値を高める加工、商品化が可能で、日本の森林の課題の一つである大径材の更なる活用を図っていきます。



高い形状安定性により幅広・長尺・薄型とした「Gywood®」のテーブル

安永寺本堂新築工事

福山弘構造デザイン・菊池建設㈱

受賞部門：ハートフルデザイン

受賞分野：建築・空間分野

安永寺本堂は、木造伝統技術と最新技術を融合させ、シンプルでありながら日本らしさを感じさせる寺院建築です。福山弘構造デザインは「寺院本来の姿に立ち返る光の寺」をコンセプトとし、かつて人々が集っていた屋根だけがかかった東屋のような素朴な建物をイメージし、屋根のみが浮いて見えるようなシンプルな造形で設計しています。寺院建築の屋根として初めてCLTを採用し*、大判のCLTを現しで屋根構面に採用しています。昼間は差し込む太陽光で、夜間は壁上部に設置した照明で内部天井から屋根構面を照らすことで、まるでCLTそれ自体が光っているかのように見える「光のお堂」となっています。菊池建設㈱は木造伝統工法技術により、施工を担当しております。

* (一社) CLT協会調べ



屋根のみが浮いて見えるシンプルな造形を、CLT大版による3次元面トラス架構で表現

<ご参考>

「ウッドデザイン賞」



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2018

ウッドデザイン賞は、「木」に関するあらゆるモノ・コトを対象に、暮らしを豊かにする、人を健やかにする、社会を豊かにするという3つの視点から、デザイン性が優れた製品や取り組みなどを消費者目線で表彰する顕彰制度です。林野庁の後援のもと、木のある豊かな暮らしが普及・発展し、木材利用の促進が図られることを目的としています。

表彰部門は「ライフスタイル部門」「ハートフルデザイン部門」「ソーシャルデザイン部門」の3つが設けられ、応募対象は建築・空間分野と建材・部材分野、木製品分野、コミュニケーション分野、技術・研究分野に分かれています。4回目となる今年は393点の応募作品の中から189点がウッドデザイン賞を受賞、11月20日に農林水産大臣賞1点と林野庁長官賞9点、審査委員長賞15点の計25点が最終選出されました。

(ウッドデザイン賞ホームページ：<https://www.wooddesign.jp/>)

12月6～8日には、東京ビッグサイトで開催される「エコプロ2018」内で、表彰式と受賞作品の展示が行われます。

エコプロ2018

名称：エコプロ2018 SDGs時代の環境と社会、そして未来へ

会期：2018年12月6日(木)～8日(土) 10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト 東ホール

主催：(一社)産業環境管理協会、日本経済新聞社



この件に関するお問い合わせ先

ナイス株式会社 広報室 森・内野 TEL：(045) 501-5048

〒230-8571 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1 ナイスビル 8F